



2024年3月期 第2四半期決算短信(日本基準)(連結)

2023年11月9日

上場会社名 日本電子材料株式会社
コード番号 6855 URL <https://www.jem-net.co.jp/>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 坂田 輝久
問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 管理部門統括部長 (氏名) 石本 浩久
四半期報告書提出予定日 2023年11月13日 配当支払開始予定日 2023年12月1日
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東

TEL 06-6482-2007

(百万円未満切捨て)

1. 2024年3月期第2四半期の連結業績(2023年4月1日～2023年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第2四半期	8,001	16.3	20	98.3	153	90.0	84	92.2
2023年3月期第2四半期	9,562	14.8	1,240	58.8	1,530	49.7	1,082	49.6

(注) 包括利益 2024年3月期第2四半期 417百万円 (73.5%) 2023年3月期第2四半期 1,575百万円 (31.7%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期第2四半期	6.71	
2023年3月期第2四半期	85.89	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年3月期第2四半期	33,099	24,440	73.8
2023年3月期	32,691	24,242	74.2

(参考) 自己資本 2024年3月期第2四半期 24,440百万円 2023年3月期 24,242百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年3月期		20.00		20.00	40.00
2024年3月期		20.00			
2024年3月期(予想)				20.00	40.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2024年3月期の連結業績予想(2023年4月1日～2024年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	16,100	22.5	300	90.6	500	85.0	390	85.1	30.90

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2024年3月期2Q	12,644,938 株	2023年3月期	12,625,314 株
期末自己株式数	2024年3月期2Q	15,826 株	2023年3月期	15,800 株
期中平均株式数(四半期累計)	2024年3月期2Q	12,617,913 株	2023年3月期2Q	12,597,867 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	P. 2
(1) 経営成績に関する説明	P. 2
(2) 財政状態に関する説明	P. 2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	P. 3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	P. 4
(1) 四半期連結貸借対照表	P. 4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	P. 6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	P. 8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	P. 9
(継続企業の前提に関する注記)	P. 9
(重要な後発事象)	P. 9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、雇用・所得環境の改善と各種政策の効果により、緩やかな回復傾向となりました。海外経済につきましても、ユーロ圏では景気が足踏み状態となったものの、全体的には緩やかな回復傾向となりました。しかしながら、先進国を中心に経済成長率は低迷を続けており、世界的な金融引締めに伴う影響、中国経済の先行きに対する懸念、物価上昇、中東情勢の緊迫化等により、先行きは不透明な状況で推移いたしました。

当社グループの主たる事業分野である半導体市場につきましては、電動化が進む自動車向けや、急激に需要が高まっている生成AI向け等、一部では需要回復の兆しがあるものの、世界的な景気後退リスクが払拭されない中、スマートフォンやパソコンの需要低迷等の影響によるメモリーを中心とした生産調整の継続や、設備投資が前年に対して大きく削減される等、全体としては厳しい状況で推移いたしました。

このような事業環境の中、当第2四半期連結累計期間の売上高につきましては、非メモリー向けプローブカードは、国内の先行需要向けを中心に拡販を推し進めたことにより、緩やかな回復基調となったものの、メモリー向けプローブカードが、海外向けに成熟製品が一時的に伸びたものの、市場の冷え込みの影響により主力製品の需要が大きく落ち込んだ為、前年同四半期を下回る結果となりました。利益面につきましても、コスト削減の推進や為替が円安で推移しているものの、売上高の減少に伴う工場稼働率の低下や、付加価値の高い製品需要の減少により、前年同四半期を下回る結果となりました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の業績につきましては、売上高は8,001百万円（前年同四半期比16.3%減）、営業利益は20百万円（前年同四半期比98.3%減）、経常利益は153百万円（前年同四半期比90.0%減）となりました。親会社株主に帰属する四半期純利益につきましては、84百万円（前年同四半期比92.2%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債および純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末の資産合計は、前連結会計年度末に比べ407百万円増加し、33,099百万円となりました。

これは主として、売掛金が2,160百万円、製品が43百万円、機械装置及び運搬具（純額）が102百万円減少しましたが、現金及び預金が2,529百万円、建設仮勘定が190百万円増加したこと等によるものであります。

負債合計は、前連結会計年度末に比べ209百万円増加し、8,659百万円となりました。

これは主として、電子記録債務が176百万円、買掛金が356百万円、短期借入金が500百万円減少しましたが、長期借入金が1,309百万円増加したこと等によるものであります。

純資産合計は、前連結会計年度末に比べ197百万円増加し、24,440百万円となりました。

これは主として、利益剰余金が167百万円減少しましたが、為替換算調整勘定が330百万円増加したこと等によるものであります。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物（以下「資金」という）は、2,297百万円増加し、当第2四半期連結累計期間末には14,795百万円となりました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における営業活動による資金の増加は、2,035百万円（前年同四半期比60.5%増）となりました。

これは主として、賞与引当金の減少112百万円、仕入債務の減少646百万円等による減少要因があったものの、減価償却費526百万円、売上債権の減少2,293百万円等による増加要因があったことによります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における投資活動による資金の減少は、650百万円（前年同四半期は205百万円の資金の減少）となりました。

これは主として、定期預金の払戻による収入268百万円等による増加要因があったものの、有形固定資産の取得

による支出467百万円、定期預金の預入による支出488百万円等による減少要因があったことによります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における財務活動による資金の増加は、739百万円（前年同四半期は813百万円の資金の減少）となりました。

これは主として、短期借入金の純減500百万円、長期借入金の返済による支出473百万円、配当金の支払額251百万円等による減少要因があったものの、長期借入れによる収入2,000百万円による増加要因があったことによります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当社グループの主たる事業分野である半導体市場につきましては、中長期的には、デジタル社会への移行が世界中で進む中、半導体は、様々な製品において需要の拡大が予想されており、それらを背景として、新たな半導体工場の建設等、半導体製造基盤の確保・強化に向けた動きも広がっております。

一方、足元においては、世界的な景気後退リスクが払拭されない中、スマートフォンやパソコンの需要の冷え込み等により、半導体メーカーの生産調整は長期化しており、半導体製造装置の市場も前年に対して一旦縮小が予想される等、先行きの不透明感は増しております。

プローブカードの需要に関しましても、付加価値の高い製品を含め、今年度は本格的な回復には至らず、厳しい状況が継続すると予想されます。

2024年3月期通期連結業績につきましては、2023年9月26日に公表いたしました業績予想からの変更はございませんが、今後、修正の必要が生じた場合には速やかに公表いたします。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	12,779	15,309
受取手形	—	0
電子記録債権	1,207	1,249
売掛金	6,875	4,714
有価証券	30	34
製品	441	398
仕掛品	1,012	1,018
原材料及び貯蔵品	2,298	2,302
その他	362	440
貸倒引当金	△13	△8
流動資産合計	24,994	25,458
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	2,348	2,280
機械装置及び運搬具（純額）	2,982	2,879
建設仮勘定	284	475
その他（純額）	1,151	1,099
有形固定資産合計	6,767	6,734
無形固定資産	202	172
投資その他の資産		
その他	728	735
貸倒引当金	△0	△0
投資その他の資産合計	727	734
固定資産合計	7,697	7,640
資産合計	32,691	33,099
負債の部		
流動負債		
支払手形	0	—
電子記録債務	1,014	837
買掛金	1,275	918
設備電子記録債務	119	202
短期借入金	500	—
1年内返済予定の長期借入金	906	1,123
未払法人税等	—	72
賞与引当金	507	394
その他	1,169	894
流動負債合計	5,493	4,444
固定負債		
長期借入金	2,775	4,085
その他	180	129
固定負債合計	2,955	4,215
負債合計	8,449	8,659

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,053	3,069
資本剰余金	3,272	3,289
利益剰余金	17,509	17,341
自己株式	△15	△15
株主資本合計	23,819	23,684
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2	4
為替換算調整勘定	419	750
その他の包括利益累計額合計	422	755
純資産合計	24,242	24,440
負債純資産合計	32,691	33,099

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2022年4月1日 至2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2023年4月1日 至2023年9月30日)
売上高	9,562	8,001
売上原価	6,240	5,741
売上総利益	3,321	2,260
販売費及び一般管理費		
給料及び手当	453	473
退職給付費用	8	8
研究開発費	747	939
その他	872	818
販売費及び一般管理費合計	2,080	2,239
営業利益	1,240	20
営業外収益		
受取利息	4	12
受取配当金	21	22
為替差益	269	82
材料屑売却益	2	15
その他	10	13
営業外収益合計	309	146
営業外費用		
支払利息	14	11
その他	5	2
営業外費用合計	19	13
経常利益	1,530	153
特別利益		
補助金収入	126	—
特別利益合計	126	—
税金等調整前四半期純利益	1,657	153
法人税、住民税及び事業税	520	124
法人税等調整額	54	△55
法人税等合計	575	68
四半期純利益	1,082	84
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,082	84

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2022年4月1日 至2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2023年4月1日 至2023年9月30日)
四半期純利益	1,082	84
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△0	1
為替換算調整勘定	493	330
その他の包括利益合計	493	332
四半期包括利益	1,575	417
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,575	417

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	1,657	153
減価償却費	548	526
株式報酬費用	8	16
補助金収入	△126	—
賞与引当金の増減額 (△は減少)	52	△112
売上債権の増減額 (△は増加)	2,515	2,293
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△111	110
仕入債務の増減額 (△は減少)	△1,829	△646
その他	△163	△324
小計	2,551	2,016
利息及び配当金の受取額	26	35
利息の支払額	△14	△10
補助金の受取額	126	—
法人税等の支払額	△1,422	△5
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,267	2,035
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有価証券の取得による支出	△0	△0
有形固定資産の取得による支出	△439	△467
有形固定資産の売却による収入	—	1
定期預金の預入による支出	△166	△488
定期預金の払戻による収入	425	268
その他	△24	35
投資活動によるキャッシュ・フロー	△205	△650
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	—	△500
長期借入れによる収入	—	2,000
長期借入金の返済による支出	△526	△473
リース債務の返済による支出	△36	△35
自己株式の取得による支出	△0	△0
配当金の支払額	△250	△251
財務活動によるキャッシュ・フロー	△813	739
現金及び現金同等物に係る換算差額	170	173
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	419	2,297
現金及び現金同等物の期首残高	11,473	12,497
現金及び現金同等物の四半期末残高	11,892	14,795

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません

(重要な後発事象)

該当事項はありません。